

BtoB・SaaS | 機能説明を 「業務で起きる変化」へ翻訳する

機能の紹介を、導入前に確かめたい仕事の流れへ置き換える。

機能名の前に、誰の何が困っているかを示す。

企画の起点

- 担当者が繰り返している作業
- 情報を探す場面
- 確認や承認が止まる場面
- 引き継ぎで抜けやすい情報

一つの業務課題を選び、製品が関わる範囲を説明します。

業務の場面が見えると、機能の価値も伝えやすくなります。

使う人と、導入を判断する人を分ける。

利用担当者

操作と日々の仕事の変化

管理者

権限・運用・保守の負担

決裁者

費用・導入条件・期待する効果

一本ですべてに答えず、役割別の動画と詳細資料を用意します。

相手の役割に合わせて、**確かめたい情報**を届けましょう。

業務の前後を、一つの操作でつなげる。

台本の型

今の業務

どこで手間が発生するか

操作

製品で何をするか

変化

何を確認しやすくなるか

条件

設定や契約など必要な前提

実測していない削減率や効果を、数値として追加しないようにします。

一つの操作から、仕事が変わる場面を具体的に示しましょう。

できることと、前提条件を一緒に伝える。

点検する条件

- 対象プランやオプション
- 必要な初期設定と連携
- 利用者の権限
- 対応データや業務の範囲

一部の環境だけで使える機能を、全利用者に共通するように見せない構成にします。

前提も一緒に伝えて、**納得して検討できる案内**にしましょう。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）



内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

画面収録は、専用のデモ環境で行う。

撮影前の確認

- 架空の会社・人物・データを使う
- 通知や別のタブを閉じる
- 認証情報・顧客情報を表示しない
- 権限と操作できる範囲を確認

本番顧客の画面をそのまま流用せず、説明に必要な情報だけを用意します。

安心して使えるデモ素材を、撮る前に整えましょう。

一画面で、何を見るかを明確にする。

編集の提案

- 操作する箇所を絞る
- 文字が読める拡大率にする
- 画面と説明のタイミングをそろえる
- 操作結果が分かるところまで見せる

長い操作は別の動画に分け、短尺では一つの使い方を伝えます。

見る場所を絞ると、**操作の意味**が伝わりやすくなります。

効果の数値は、測った条件まで残す。

記録する項目

- 何の作業を測定したか
- 対象者・期間・件数
- 導入前後の条件
- 測定方法と除外した作業

説明用の想定値は実績と区別し、個別事例を一般的な効果として保証しません。

条件を残して、**信頼して読める**説明を積み重ねましょう。

導入事例は、顧客の許可と事実を照合する。

確認する内容

- 会社名・ロゴ・発言の使用範囲
- 成果数値の根拠と対象期間
- 顧客が実際に使った機能
- 公開先と更新の条件

営業向けに許可された資料でも、SNSでの公開が可能かを別途確認します。

顧客の意図と事実を大切に、**伝わる事例**を整えましょう。

営業・製品・サポートの確認をつなぐ。

営業

顧客の疑問と導入の入口

製品担当

仕様・制約・提供状況

サポート

設定やつまづきやすい点

公開担当

承認版と掲載先を管理

将来の開発予定を、提供済みの機能として説明しないようにします。

関係する担当者をつなぎ、**確かな説明**を育てましょう。

動画の次に、試せる行動を一つ用意する。

導線の候補

- 機能の詳細を確認する
- デモの説明を見る
- 導入条件を相談する
- 利用可能な試用に申し込む

試用の条件や費用を明確にし、動画の説明と案内先を一致させます。

次の行動を一つにすると、検討を進めやすくなります。

視聴の反応と、商談で役立つかを測る。

指標候補

- 詳細ページへの遷移
- デモや相談へのつながり
- 商談での理解と質問
- 利用開始後のつまずき
- 動画を更新する負担

企業規模や対象業務の違いも記録し、単純な再生数だけで比較しません。

現場の質問から、次に**必要な説明**を見つけましょう。

確認待ちの業務を、一本で紹介する。

モデルケース

- 承認状況が分からない場面を示す
- 架空データで確認の操作を紹介
- 必要な設定や権限を補足
- 詳しいデモへつなぐ

实在顧客の成果ではなく、説明の組み立て方の例です。

よくある場面から、**一本ずつ**分かりやすくしていきましょう。

仕様変更を、動画更新のきっかけにする。

管理する情報

- 紹介する機能と対象プラン
- 撮影した画面の時点
- 内容を確認した担当者
- 公開先と埋め込み先
- 更新・非公開の判断日

古い画面や料金が残らないよう、製品の変更情報と照合します。

更新できる仕組みで、**役立つ案内**を長く支えましょう。

導入後の仕事を、具体的に想像できる発信へ。

今日決める5つ

- 対象の職種と業務課題
- 一本で見せる操作
- 必要な前提と制約
- デモ環境と確認者
- 次の行動と更新日

ショート動画屋さんの内製化支援では、貴社に合う役割・手順・改善方法を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する